

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月18日
事業名	道路維持運営事務事業（道路修繕業務）	担当課・係名	建設課 道路整備係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	22
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	町内における道水路の機能保全				
対象 (誰を・何を)	町内の道路及び水路				
内容	町内の道路及び水路の機能保全を図るため維持修繕の実施				
根拠法令・条例等					
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	17,213	16,128	10,317
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	17,213	16,128	10,317
	職員人数 (概算職員数)	人			0.29
	人件費計 (b)	千円			1,777
総事業費 (a)+(b)	千円	17,213	16,128	12,094	
事業費内訳 H 25 年度	消耗品費：170千円 印刷製本費：5千円 修繕料：10,000千円 工事用材料費：131千円 測量用材料費：11千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 工事箇所	箇所	29	25	15
	②				
活動指標 (活動量)	① 工事箇所	箇所	29	25	15
	②				
成果指標 (達成度等)	① 工事の完成率	%	100	100	100
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	道水路の管理者である町が主体となって、修繕内容に応じて直営及び外部発注等の適切な対応を図っている。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	修繕内容に応じて、直営あるいは外部発注での対応を適切に行っている。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	目標とした成果は達成しているが、予算の関係で住民等の修繕要望に十分に答えられていない部分もある。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	修繕内容に応じて、外部発注、あるいは直営で対応を行っているが、緊急性や費用面を考え、できるだけ効率的な対応を図っている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	直営で対応できるものは対応し、外部発注するものについても、安全面や費用面を考えた中で必要最低限の対応を行っている。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 修繕については、緊急性、安全性などを考えた中で、直営、あるいは外部発注での対応を適切に行っているが、新たな修繕要望等もあり、予算的に対応しきれないものもある。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
予算面も考え出来る限り直営での対応を行い、外部発注については、緊急性、安全性を考えた中で適切な発注を行っていく。
② 平成26年度に着手する事項
予算面も考え出来る限り直営での対応を行い、外部発注については、緊急性、安全性を考えた中で適切な発注を行っていく。
③ その他（課題、調整事項等）
年度当初に予定していた修繕のほか、新たに発生した修繕に対する対応について予算面も含め検討する必要がある。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

限られた予算の中で、今まで以上に直営で出来ることは直営で行い、直営と外部発注を組み合わせ、出来る限り外部発注の作業を削減した対応を行っていく。
